

小規模特別養護老人ホーム 昂

令和7年度事業報告書

1. 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

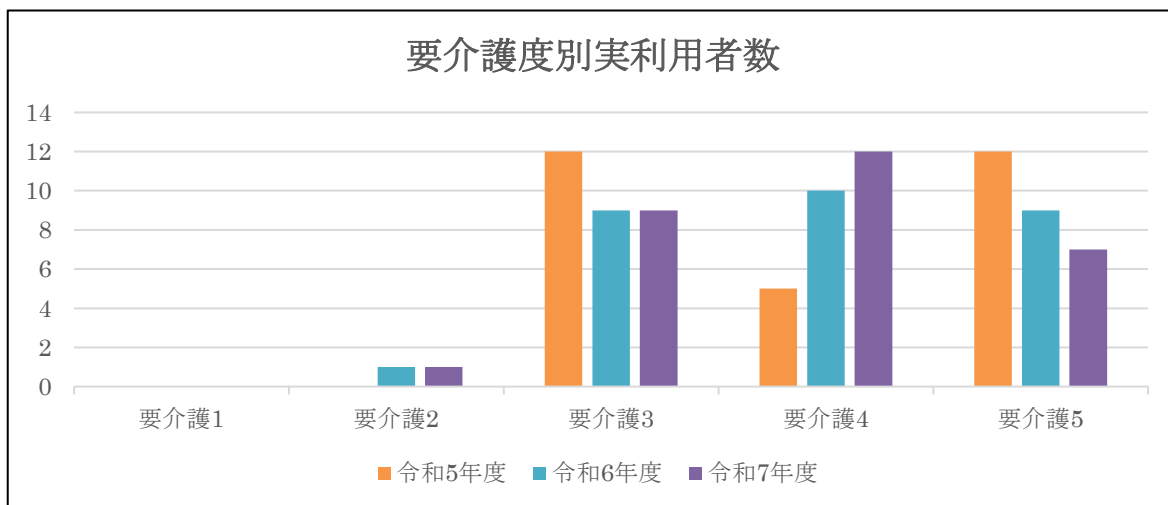
区分 \ 職名	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士(管理)	事務員	環境整備員	合計
基準定数 ・・・①	1		1	1	(1)	1	1	10	1			16
正規職員の配置 ・・・②	1		1	1		1	1	15	1	1		22
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)		2	7			1	10
現員計 ②+③=④	1		1	1	(1)	1	3	22	1	1	1	33

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、〔 〕内で記入。

2. 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)



* 平均介護度 (令和5年度 4.0、令和6年度 3.93、令和7年度 3.86)

(1-1) 入退居状況（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	2人	1人	1人	0人	0人	0人	3人	0人 (2)	3人	2人	1人	0人	13人 (2)
退居	3人	0人	1人	0人	0人	0人	3人	3人 (1)	1人	1人 (1)	1人	0人	13人 (2)

* () は、短期入所利用者数

(1-2) 入退居状況（性別）

	男	女	計
入居者数	5人	8人	13人
退去者数	4人	9人	13人
入居者在籍数	9人	20人	29人

(2) 月別申込み状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	2人	0人	4人	0人	1人	1人	1人	1人	4人	3人	2人	0人	19人

(3) 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	813人	837人	848人	869人	896人	866人	858人	840人	835人	880人	802人	899人	10,243人
稼働率	93.5%	93.1%	97.5%	96.7%	99.7%	99.5%	95.4%	96.5%	92.9%	97.9%	98.8%	100%	96.8%

* 月平均稼働率は96.8%となり、目標の98.0%には届かなかった。主な要因として、入院者数が前年度の4名から6名へ増加し、長期入院となるケースが多くみられたことが挙げられる。また、退院時期の調整が難しく空床期間をショートステイ利用へつなげられないケースがあったことに加え、直近の待機者数が少なく、退居後すぐの入居に結び付かない状況もみられたことから、稼働率に影響が生じた。

(4) 逝去場所

昂	病院	ご自宅
9人	1人	0人

(5) 年齢層分布

年齢層	女性	男性	合計
63-74歳	0人	2人	2人
75-84歳	5人	2人	7人
85-94歳	10人	4人	14人
95-104歳	5人	1人	6人
計	20人	9人	29人

(6) 利用者負担軽減状況

負担段階	人数	割合
負担限度 1	0 人	0.00%
負担限度 2	2 人	6.89%
負担限度 3①	2 人	6.89%
負担限度 3②	4 人	13.79%
負担限度 4	21 人	72.43%

(7) 事故・ヒヤリハット報告

・事故報告 61 件

うち 1 件は、転倒による外傷で受診・処置を行ったため、新潟市へ報告を行った。

・ヒヤリハット 120 件

事故およびヒヤリハットの分析を施設全体および各ユニットで実施した。事故報告では転倒・転落に関する事例が約 7 割を占め、ヒヤリハット報告においても約 3 割を占めたことから、事故が繰り返し発生している利用者への継続的なリスク評価と対策の見直しが課題として確認された。また、センサー管理やベッド柵の確認、服薬・義歯管理など、職員の確認や情報共有の徹底により防止できる事例もみられた。さらに、誤嚥や異食、誤薬など重大事故につながるリスクも確認されたことから、会議等を通じて要因分析と再発防止策の共有を行い、事故の未然防止に努めた。

3. 利用者処遇の充実の状況

(1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
雪ユニット	12	0	不定期	①・無	機能訓練指導員、 看護師、ケアマネージャー、 管理栄養士、生活相談員、 ユニットリーダー、ユニット 職員
月ユニット		0			
花ユニット		0			

(2) 機能訓練実施状況

①生活上機能訓練

【生活リハビリ】

一連の食事行為練習	： 毎日	16 名
一連の整容行為練習	： 毎日	0 名
一連の排泄行為練習	： 毎日	1 名
姿勢変換保持練習	： 毎日	0 名
言語機能訓練	： 毎日	1 名
摂食嚥下機能訓練	： 毎日	8 名
構音機能訓練	： 毎日	0 名
起居・移乗動作練習	： 毎日	0 名
歩行・移動練習	： 毎日	3 名

【作業リハビリ】

洗濯物たたみ : 毎日 0名
 書字練習 : 毎日 1名

②運動機能訓練

【運動器リハビリ】

関節可動域訓練 : 適宜 0名
 歩行・移動練習 : 適宜 7名
 起居・移乗動作練習 : 適宜 1名
 筋力維持・増強訓練 : 適宜 9名
 姿勢変換保持練習 : 適宜 9名
 対人関係練習 : 適宜 1名

③その他

歯磨き・更衣等における日常生活関連動作の促し : 毎日 22名

(3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

①施設の体制について

- ・3ヵ月に一回全体会議にて、経過報告。
- ・虐待（の疑い）があった場合、口頭又は施設内に1か所の相談受付箱を設置。
- ・担当者の名前を重要事項説明書に明記。
- ・第三者委員を含めた苦情相談窓口の掲示。

②虐待防止に向けた施設での取り組みについて

- ・虐待の芽を早期発見に努める。
- ・虐待防止について勉強会開催。（年2回。職員入職時に随時）

③虐待の芽を早期に発見する為の具体的な取り組みについて

- ・法人虐待防止委員会で取り上げられた事業所にあった事例をもとに、適切なケアのあり方について職員アンケートを実施した。アンケート結果を全体会議で共有し、職員一人ひとりが日々のケアを振り返りながら、より良い支援につなげられるよう意識啓発を行った。
- ・他職員からケアに関する相談があったことを受け、関係職員への聞き取りを行いながら状況の把握に努めた。また、運営会議において内容を共有するとともに職員アンケートを実施し、その結果を踏まえながら、より良いケアの実践と再発防止に向けた取り組みについて検討を行った。さらに、対象職員との定期的な面談を継続し、職員への支援と相談しやすい職場環境づくりに努めた。

(4) 嘱託医師の回診の状況

週1回水曜日の午前に昂診療所において嘱託医による往診を実施。

往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様及びご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、年1回の健康診断、ワクチン予防接種、看取りの方等の死亡確認及び死亡診断書の作成。

往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医に速やかに報告、指示のもと対応。

(5) 食事の状況

・食事時間

朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00

・食費

朝食、昼食、夕食 = 1,550 円 (減額有) おやつ = 120 円

・食事形態

(在籍者数 29 人 当該年度 3 月 31 日現在)

常食	刻みトロミ	ムース食	ミキサー食	経管栄養	メイバランス・ソフトゼリーのみ
10 人	12 人	0 人	6 人	0 人	1 人

・代替食

各入居者の好み等により個別に対応 (ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等)

・栄養年報 (※経管栄養の方を除く)

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,587Kcal	60.2g	43.7g	644mg	6.8g
給与栄養量	1,497Kcal	49.6g	42.0g	596mg	7.1g

(6) 入浴の状況

(当該年度 年間実績)

入浴内容 区分	一般浴	特別浴	リフト浴	シャワー浴
延べ入浴者数	0 人	1,776 人	942 人	99 人
1 人当たり週回数		週 2 回	週 2 回	
実施 (曜日)	実施日無し	日～土曜日	日～土曜日	日～土曜日
入浴時間帯	時 分 ~ 時 分	9 時 00 分～ 16 時 00 分	9 時 00 分～ 16 時 00 分	9 時 00 分～ 16 時 00 分
介護員数	0 人	2 人	1 人	1～2 人

(7) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理由
無	無	無	特になし

(8) 行事・ボランティア活動

(当該年度 年間実績)

月	活動内容
4 月	昴庭お花見、お花見ドライブ、お誕生日会
5 月	いなり寿司の提供、昴庭散歩、お誕生日会
6 月	カラオケ大会、梅ジュース作り、お誕生日会
7 月	納涼会、お誕生日会
8 月	すいか割大会、お誕生日会
9 月	敬老会、芋ほり、お誕生日会

10月	お誕生日会
11月	収穫祭、お誕生日会
12月	クリスマスパーティ、お誕生日会
1月	お正月記念写真、お誕生日会
2月	節分、お誕生日会
3月	ひな祭り、お誕生日会

*その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。2か月に1度リクエスト献立の実施。感染状況をみて対策を行いながら、施設全体の行事を実施。

(9) 防災訓練実施の状況

① 火元責任者自主検査チェック表

全職員に対し、担当区域ごとに「火元責任者」を割り当て、毎月自主検査を実施。

9月および3月には、追加で「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを実施した。

また、令和7年度の新規入職職員および新たに担当となった職員を対象に、点検内容に関する説明を実施した。

② 避難訓練

8月28日および2月12日に避難訓練を実施した。

8月の訓練では、火災発生時の初動対応および避難誘導の手順について職員へ説明を行うとともに、消火器の設置場所や使用方法の確認を実施した。また、初期消火に失敗したことを想定し、全入居者の避難誘導訓練および避難完了までの時間測定を行った。

2月の訓練では、夜間の火災発生を想定し、火災警報器を作動させた通報訓練を実施した。また、水消火器を使用した消火訓練に加え、負傷者発生時を想定した止血方法の訓練も実施した。

③ 水害図上訓練

10月30日に洪水を想定した図上訓練を実施した。

当施設は鉄筋コンクリート造2階建てであることから、状況に応じて2階への垂直避難が有効であることを確認した。また、エレベーターを使用したベッドごとの避難および車椅子での避難方法について訓練を実施するとともに、エレベーターが使用できない場合を想定し、担架による避難方法についても説明を行った。あわせて、垂直避難時に2階へ持ち出す必要物品の確認を実施した。

(10) 運営推進会議の状況

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員）、地域包括支援センター、かめだ本町の里代表者、ご利用者様代表、ご家族様代表、当該事業知見者、当該施設代表（施設長）、当該施設職員（生活相談員）

内 容：利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

4. 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(当該年度 年間実績)

利用者への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
受付けた苦情内容及び解決結果の公表方法	事業報告書への掲載	会報等への掲載		その他
	有 ・ 無	有 ・ 無		重要事項及び契約書に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

① 要望件数 6 件

【内容】利用者 A 様より、「B さんから、あなたがわがままだから職員に迷惑を掛けている。と言われたの、どうしたらいいの」と相談あり。

【対応】利用者様のお話を傾聴する。職員がそのような話をしている事実はないことを説明するとともに、他利用者様の話の聞き役となってしまうことについて謝罪する。辛い思いや不安なことがあった際には、いつでも職員へ相談していただき、必要時は職員が介入して対応していく旨をお伝えした。また、職員間でも内容を共有し、利用者様同士の関係性や言動に注意を払いながら、安心して生活していただける環境づくりに努めていくことを確認した。

② 苦情件数 2 件

【内容】ご家族より、「面会時に職員から様々な話があった。ここぞとばかりに色々言われているように感じ、少しモヤモヤしていたため話を聞いてほしかった。」との電話をいただく。

【対応】ご家族の思いを傾聴する。職員の伝え方により、不快な思いをさせてしまったことについて謝罪を行う。ご家族より、「昂が良くて入所させてもらっている。父も笑顔で過ごしているの、これからもお願いしたいと思っている。」とのお話あり。
今後については、職員間で内容を共有し、ご家族対応時の言葉遣いや伝え方について再確認を行う。また、ご家族が安心して相談できるよう、丁寧で配慮ある対応に努めていくことを周知した。

5. 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

・短期入所生活介護の概要（空床型）

特別養護老人ホームの入居者が、長期入院や退所により長期間空床となった場合、短期入所生活介護として要支援 1 から要介護 5 の方を対象にご利用いただくことが可能である。

・年間実績

本年度は 2 名が利用。1 名は 1 泊でのご利用、もう 1 名は 1 ヶ月半のロング利用となる。

その後、他 SS にて老健入所待ちとなる。

・問題点

入院により空床が発生した際、各施設へ情報発信を行い、数件の問い合わせがあったが、いずれも長期利用希望であったため、希望利用期間と空床期間が一致せず利用に至らないケースが多かった。

・対応策

病院、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と空床状況の共有を継続し、情報提供の機会を増やしていく。また、担当区域である新潟市地域包括支援センター山潟との連携強化を

図るとともに、過去に問い合わせのあった事業所等へも継続的に情報発信を行い、利用促進につなげていく。

6. 待機者の状況

(当該年度 3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	2	2	3	4	1	12

*ケアマネジャーや SNS をご覧になった個人の方からの問い合わせが多く寄せられたほか、退所された利用者家族からの紹介による相談も見られた。また、見学後に申し込みへつながるケースもあった。次年度については、地域への周知活動や SNS の活用をさらに強化し、施設の取り組みや空床状況等の情報発信を積極的に行うことで、より多くの利用につなげていく。

7. 職員の資質の向上等人材育成の状況

(1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議		0	第一木曜	有・無	施設長、看護師、ケアマネジャー、生活相談員、管理栄養士、各ユニットリーダー
ユニットリーダー会議		0	第二木曜		係長、看護、各ユニットリーダー
事故防止委員会		0			
全体会議	12	0	第四木曜		施設長、看護師、ケアマネジャー、生活相談員、管理栄養士、各ユニットリーダー、介護職員
入所判定会議		0			
感染症対策委員会		0			
身体拘束廃止委員会		0			
虐待防止委員会		0			

(2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

令和7年度 研修実績					
	主催	研修名	実施日	参加者	主催
内部研修	オンライン研修	感染症・食中毒の予防及び、蔓延防止に関する研修	5月	全職員	ジョブメドレーアカデミー
		感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修	6月		
		介護現場で気をつけたいプライバシー保護	7月		
		倫理及び法令遵守に関する研修	8月		
		認知症及び認知症ケアに関する研修	9月		

	オンライン研修	医療に関する教育・研修	10月	全職員	ジョブメドレーアカデミー	
		身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修	11月			
		事故発生又は再発防止に関する研修	12月			
		ターミナルケアに関する研修	1月			
		緊急時の対応に関する研修	2月			
		精神的ケアに関する研修	3月			
	施設内勉強会	第一回 BCP 感染症の予防及びまん延防止の研修・訓練	6月		感染対策委員会	
		第二回 BCP 感染症の予防及びまん延防止の研修・訓練	12月			
		第一回 口腔ケアに関する研修	5月		歯科医	
		第二回 口腔ケアに関する研修	11月			
		口腔ケア研修	10月			
		虐待防止について勉強会	8月		虐待防止委員会	
		バイタルサイン、熱中症予防について勉強会	7月		看護	
		第一回 BCP 災害対策研修・訓練	9月		庁舎係	
		第二回 BCP 災害対策研修・訓練	3月			
		身体拘束について勉強会	12月		身体拘束廃止委員会	
	災害時の夜間救命処置について	3月	庁舎係			
	その他	雇用管理責任者講習	4回		小熊 佳奈	介護労働安定センター
		ビジネスメール講座	5月		川島 恵	日本電信電話ユーザー協会
		身体拘束最小化戦略	6月		島津 佳代子	新潟市看護協会
褥瘡対策セミナー2025		7月	白井 恭子 山岸 琴音	(株) ケープ		
感染対策スキルアップ研修		9月	白井 恭子 玉木 聡之	新潟市在宅医療 介護連携ステーション		
食事摂取基準を踏まえた栄養管理の進め方		9月	木村 佑美子	新潟市保健所		
看取り施設から学ぶ意思決定支援		10月	川島 恵 島津 佳代子	新潟市在宅医療 介護連携ステーション		
コミュニケーション実践研修		11月	小熊 佳奈	日本電信電話ユーザー協会		
令和7年度認定調査従事者現任研修		12月	川島 恵	新潟市福祉部		

8. 建物・設備等の保守点検の状況

(当該年度 年間実績)

対象		具体的な状況	対応
5月	センサーマット	必要台数不足 6台保有(内1台接触不良)	3台購入
7月	浴室シャワー調圧弁	使用時、調圧弁の小穴から水が噴き出す(経年劣化)	部品交換
7月	浄化槽のロータリーブローア	保守点検時にモーターの故障が確認された	モーターの交換

7月	冷凍冷蔵庫	設定温度に達しず冷凍食材の保管が困難な状況	清掃・修理
8月	スチームコンベクションオープン	異音が発生、ファンモーターの故障	ファンモーターの交換
8月	花ユニット居室8のエアコン	異音が発生、ファンモーターの故障	入れ替え
8月	エレベーターかご上制御基板・非常用バッテリー	耐用年数経過	取り換え(2月)
8月	特浴用ストレッチャーのキャスター	キャスターの不具合	キャスター交換
8月	花ユニットホールエアコン	ドレンポンプの故障	部品交換
8月	花居室6の壁紙	浸水による壁紙の損傷	西側外壁工事および居室壁面修繕工事(11月)
9月	厨房出入口	浸水	土間モルタル掘削および庇設置
9月	・高圧交流負荷開閉器 ・駐車場の外灯	→耐用年数経過 →腐食による倒壊の危険あり	→取り換え(10月) →撤去(10月)
11月	夜間駐車場の視認性	外灯なく、安全性・防犯上の懸念	人感センサー付きライトの設置(2台)
11月	エアーマット	必要台数不足(8台保有、うち3台に不具合あり)	2台購入
12月	1階洗濯機	異音発生後作動せず(2011年製)	入れ替え
12月	2階排水トラップ	詰まりによる床上漏水	排水トラップ交換
12月	雪ユニット電子レンジ	作動しない	入れ替え
12月	パソコン2台	操作中に動作不能となる	入れ替え
12月	雪居室2のエアコン	ファンモーターの故障(2010年製)	入れ替え
1月	消雪ポンプ	呼び水の減少・稼働時の異音発生	部品交換
2月	スチームコンベクションオープン	浄軟水器カートリッジの定期交換	定期交換

9. その他の報告事項

- ・インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症およびノロウイルスの流行期において、感染症対策として面会制限を実施した。また、感染状況に応じて面会方法の見直しを行い、感染予防とご家族との交流機会の両立に努めた。
- ・科学的介護推進体制加算について算定要件の確認を行った結果、一部要件に不備があることが判明したため、関係機関と協議のうえ必要な対応を進めた。